

# 輝

## いてい る グループ



### 若桜鉄道 隼駅を守る会

鳥取県八頭郡八頭町見槻中 隼駅内  
会長 西村 昭二

## バイク**隼** & **隼**駅 でつながる人の輪



### 隼 8・8 全国から隼駅にライダー集結

ハヤブサは、1998年に国内バイクメーカースズキ(株)が開発し、国外向けに製造された世界最速バイクです。そのバイクと若桜鉄道隼駅を守る会との交流のきっかけは、意外なところから始まりました。2008年8月8日、バイク雑誌社の主催で東京都千代田区隼町からバイクでツーリングして隼駅に集まる企画があり、隼駅にライダーが集結したのです。ライダーと知り合った私たちは、翌年に地域を挙げて歓迎する約束をして2009年の隼祭りが実現しました。2009年8月8日、「隼8・8祭り」が隼駅で開催され、全国から300台を超えるライダーが集結、隼駅は都会の混雑した駅のようになり、地元住民を始めスタッフ一同反響の大きさにびっくりしました。

### 交流 を機に広がる地域の輪

ライダーとの交流を機に、私たちは地域の人達に呼びかけて団結を図りました。駅舎・トイレの清掃、環境整備は地域全体の取り組みとし、交替で分担しました。試行錯誤しながら、もてなし方法のプランを練りました。最初、イベント、昼食、宿泊施設などの計画を自分たちだけで計画しましたが、限界があることに気づきました。自分たちだけでなく地域や様々な方々に協力を依頼した方が良い交流ができると感じたのです。

ライダーとの交流を通じて、それまで暴走族と思い込んでいた地域の人々のイメージがガラリと変わりました。ライダーは、ルールやマナーに厳格な人達でした。30歳代から40歳代、70歳代と年齢も様々、北海道から沖縄まで全国各地から来られます。ライダー同士でごみの片づけ、受付や駐車場係などの仕事も先頭になってされました。

2010年のイベント会場は、手狭な駅から隼小学校に替えましたが、全国から参集した600台のライダーのほか、若桜鉄道を利用して集まった家族連れ、メーカーの方など数えきれない程の人で埋め尽くされました。あちこちでライダー同士ハヤブサを囲んで輪ができて、近況報告やバイク自慢で盛り上がりました。ライダーと地域の人もしっかり打ち解けて話し合いが始まり、2、3時間あっという間に過ぎて交流が深まりました。

農協や婦人会など支援部隊も惜しみなく協力していただき、軽トラ市、竹林おこわ、飲み物が準備され、イベントでは、茸や梨、卵ケーキなど地元の特産物を景品にクイズ大会で大いに盛り上がりました。



隼駅に集まったライダー達



隼に集まったたくさんのバイク600台



第1回隼祭り受付の様子

## 隼祭 で地域が活性化

2011年度は、「隼駅より被災地へ」のテーマで会場をより大きな竹林公園に替えました。広々とした会場に600台のバイク、朝市軽トラが並び、駆けつけた若桜鉄道の乗客、自家用車の人々も集まり大きな盛り上がりの中、交流が実現しました。会員のアイデアで航空写真

の人文字撮影をしたところ、整列はライダーの方々が進んでしてくださいました。駅舎にブルートレインも持ち込まれ宿泊も可能となり、売店もできました。平日でも、土日には常時20台のライダーが訪れ、住民との話し合いが始まっています。隼駅をめあてに、若桜鉄道を利用される観光客も増えました。地元では、ライダーや観光者に喜んでもらうための食材研究も進行中



ます」と話されているのを聞き、私たちも大きな喜びを味わっています。

## 世界 に広がる隼の輪

8月に、韓国鉄道池灘駅と隼駅が姉妹駅の締結をしました。日本の無人駅と韓国の鉄道駅との交流は、異色の組み合わせです。韓国鉄道公社は、熱心に活性化を図っている日本の駅を物色中、偶然若桜鉄道隼駅を知り交流を始めることになったのです。韓国には、鉄道ファンのほか、ライダーが1万人以上います。今後、何らかの交流が始まればよいと期待しています。地域の活性化と若桜鉄道の存続を求めて、これからも活動を続けていながら、隼駅が結びつけた人々の出会いの縁を、全国・世界へと一歩ずつ広げていきます。

人文字「隼」



隼駅に置かれた日記に、ライダーのお便りがありました。「私たちは隼駅に集まることを目的にしています。いつもこんなに良くしていただきありがたいと思っています。継続してただただで大満足です」と、感謝の言葉が綴られていました。ある地元の方から、「ライダーの皆さんにいつも感謝しています。隼駅を誇りに思い

みんなとブルートレインを補修中



若桜鉄道は、鳥取県八頭郡の郡家駅と若桜駅を結ぶ、第三セクターで運営されている鉄道です。

近年の乗用車の普及や少子化等により、若桜鉄道の利用者が著しく減少し、存続が危ぶまれています。豪雪地帯を走る鉄道の廃止は住民の生活に影響があるため、地域住民は危機感を持っています。

只今、若桜鉄道の存続と地域の活性化に向けて試行錯誤しながら活動中です。



隼駅のホームと車両



ライダーと地域の人達との交流



ホームの清掃活動